

第2回麻生区区民会議

- 1 開催日時 平成20年9月19日(金)午後3時~午後4時58分
- 2 開催場所 麻生区役所第1会議室
- 3 出席者 [委員]
天野委員、飯塚委員、市川委員、伊藤委員、碓井委員、神本委員、鴨志田委員、小坊委員、下八川委員、菅原委員、谷川委員、寺川委員、西谷委員、根占委員、守田委員、山崎委員、渡邊委員
(欠席)尾中委員、梶委員、矢野委員
[参与]
伊藤参与、尾作参与、勝又参与、山口参与
(欠席)雨笠参与、花輪参与、山崎参与、相原参与、吉田参与
[事務局]
太田区長、栗原副区長、向坂総務課長、板橋地域振興課長、荻原企画課長、宮田企画課主査
- 4 次第 (1) 開会
(2) 議事
1 広報・広聴活動について
2 第2期の調査審議課題について
3 専門部会の設置について
(3) その他
川崎市の地球温暖化に向けた取組について
(4) 閉会

【配布資料一覧】

「次第」

- 資料1 区民会議の広報広聴について(企画部会提案)
- 資料2 麻生区区民会議についてのアンケート(企画部会提案)
- 資料3 提案課題整理表(企画部会提案)

第2回麻生区区民会議

日 時 平成20年9月19日(金)

午後3時から

場 所 麻生区役所第1会議室

午後3時00分開会

1 開 会

西谷委員長 それでは、ただいまより第2回麻生区区民会議を開会させていただきます。

皆さん、こんにちは。台風が近づいているとかで、夕方から雨がひどくなるような予報で、足の大変悪いところ、御出席ありがとうございます。

今年の夏は天候がおかしく、すごい暑い日が続いたと思ったら、早々と秋になってしまったような涼しい日が続いています。例年ですと、寒さ暑さは彼岸までと、23日までは暑いような気がします。ことしはなぜか早くに秋が来たような感じがします。ですが、雨が多くて被害が多かったりということですが、麻生区は幸いとして余り被害がなかったように私は記憶しております。ほかの川崎の地区では水の被害があったところもあるかに聞いております。

この会議も2回目となりました。今日は本題に入って議論をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたしたいと思えます。ぜひ皆さんのご活発なご意見をお寄せいただければと思っております。

それでは、始めさせていただきます。

本日は報道機関の取材が入っておりまして、写真撮影の要望がありましたので、許可したいと思います。

それでは、進めさせていただきます。

2 議 事

西谷委員長 議事に入りたいと思えますが、初めに、配付資料の確認をさせていただきますので、事務局、よろしくお願いいたします。

(事務局から配布資料の説明)

(1) 広報・広聴活動について

西谷委員長 それでは、議事の(1)広報・広聴活動についてに入りたいと思えます。

区民会議の広報広聴に関することにつきましては、運営要領第8条第5項第4号の規定により、企画部会の所掌する事項とされております。提案及び説明については企画部会から願いいたしたいと思えます。なお、企画部会は9月3日に第1回の部会が開催されまして、委員の互選により、部会長に神本委員、副部会長に伊藤委員が選

任されましたことをご報告させていただきます。

それでは、企画部会を代表して、神本部長に説明をお願いいたしたいと思えます。よろしくお願いいたします。

神本副委員長 皆さん、こんにちは。このたび、企画部会の部長に選任されました神本でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、議事の(1)広報・広聴活動についてにつきまして、企画部会を代表して、私から説明させていただきます。

資料1をごらんください。資料1、資料2により、広報広聴活動について説明いたします。

(1)で第1期の取り組みについて。市政だより等の既成広報媒体を活用した広報や、区民会議委員みずからの手で作成、発行した区民会議ニュース等により広報活動を行ってきました。また、課題提案箱の区役所のロビーへの設置や、傍聴者アンケートにより、広聴活動に力を入れてまいりました。第1期区民会議報告書の委員意見から、広報活動の充実を図ってほしいとの意見もあり、有意義な活動であったことをうかがい知ることができます。

2つ、第2期の取り組みについて。広報広聴活動は区民会議の重要な活動の1つであると、第1期の区民会議委員等の意見もありまして、第2期においても引き続き区民会議ニュースの発行、傍聴者アンケート等により、広報広聴活動に力を入れていきたいと思えます。

3つ目、広報広聴担当者について。広報広聴に関することにつきましては、運営要領に規定されていますとおり、企画部会が担当することになっています。第1回企画部会において、広報広聴担当者に区民会議ニュース原稿作成者を選任しましたので、ご報告いたします。広報広聴担当者は、区民会議ニュースの編集等広報広聴に関する企画委員への中心的役割を担っていただきます。担当者として、谷川委員、守田委員を選任しました。第1期区民会議においても広報広聴活動に携わってまいりました実績があるお2人です。安心してお任せできるお2人と考えております。

4つ目、区民会議ニュース原稿作成者。先ほど説明したとおり、第1期において区民会議本会議開催後に、区民会議ニュースを発行してきました。ニュース原稿作成者は、区民会議当日の様子をニュース原稿にすることを役割とします。広報広聴担当者、谷川委員、守田委員と連絡、調整をし、ニュース原稿を作成します。第2期においても同様に発行していきたいと考えております。各会議ごとにニュース発行作成者を企画部会から選任しましたので、ご報告いたします。第1回、第2回区民会議ニュースは天野委員、第3回は伊藤委員、第4回は渡邊委員です。今年度開催予定の第4回までのニュース原稿作成者を選任いたしました。区民会議ニュースを楽しみにお待ちください。

5つ目、傍聴者アンケートについて。区民会議に傍聴に来られた方から、意見、感想等をいただくために使用するものです。傍聴者からの意見聴取は重要な広聴活動の1つと考えています。第1期に引き続き行っていきたいと考えております。

以上、提案させていただきます。ご意見等、よろしくお願いいたします。

西谷委員長 ありがとうございます。ただいま企画部会を代表して、神本委員から、広報広聴活動として、区民会議ニュースの発行、傍聴者アンケートについて提案、ご説明がありました。広報広聴活動は、第1期を振り返ってみましても、区民会議にとって大変重要な活動の1つと言えます。この広報広聴活動及びアンケートについて、皆様からご意見をいただきたいと思いますが、ご意見ございませんでしょうか。

それでは、ご意見がございませんようなので、今、神本委員のほうからご説明がありましたように進めさせていただきたいと思っております。

これにつきまして、守田委員、昨年担当されました感想、ご意見がございましたらお願いしたいのですが。

守田委員 広報担当ということで決めますと、その人間の責任というものはもちろん発生いたしますが、やはり区民会議全体で広報していくという基本的な考え方はぜひ皆様に持っていただきたいと思っております。それで、各号を発行いたしましたときに、どうぞ批判を含めて遠慮なくご意見をお寄せいただきたい。それから、こういう企画はどうだろうかというようなご提案もいただけたら大変ありがたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

西谷委員長 守田委員のほうから、広報については区民会議全体で行うということを前提として皆様にお考えいただきたいと、そのためにもご意見とかご批判をどんどんお寄せいただきたい。それから、ご提案もぜひお寄せいただけると、広報担当としては大変やりやすいということでございます。毎回出ましたらば、何かご意見、よかったということを1つでも広報担当のほうにぜひおっしゃっていただけると、次の広報の参考になると思います。よろしくお願いいたしますと思います。ありがとうございました。また広報広聴活動が活発に働けますようにということで、皆さんでご協力いただければと思っております。

それでは、議事(1)については企画部会の提案どおりご承認いただいたということですのでよろしいでしょうか。

[拍手]

西谷委員長 ありがとうございます。

(2) 第2期の調査審議課題について

ア 全体テーマについて

西谷委員長 それでは、続きまして、議事の(2)第2期の調査審議課題についてに入り

たいと思います。

第2期の全体テーマと調査審議課題については、第1回の企画部会において検討、整理をさせていただいております。

それでは、ア 全体テーマについてご審議いただきたいと思います。

企画部会から説明、ご提案をお願いしたいと思います。

それでは、神本部長、よろしくお願いいたします。

神本副委員長 それでは、説明させていただきます。

議事の(2)第2期の調査審議課題についてのア 全体テーマについて、9月3日の第1回企画部会において検討、整理した結果を踏まえ、説明、提案をさせていただきます。資料3により全体テーマについて説明いたします。

資料3を1枚めくっていただきまして、上段に記載してあるとおり、第1回区民会議において、第1期の全体テーマである「心が響きあう地域づくり」を掲げ、継続してはどうかということをご提案してあります。また、第1期の全体テーマに一言加え、「心が響きあい、とけあう地域づくり」としてはどうかという提案もありました。また、第1回区民会議において、「エコのまち麻生」を全体テーマとしてはどうかという提案もありました。企画部会で検討した結果、「心が響きあい、とけあう地域づくり」は、「響きあい」と「心がとけあう」は同意語なので重なってしまうのではないかと、または、テーマはなるべく短い言葉で簡潔なほうがいいのではないかとのお意見が出されました。「エコのまち麻生」は、抽象的なテーマとするのではなく、もう少し絞り込んだテーマとしたほうがいいのではないかとのお考えが提案されました。第1期の全体テーマである「心が響きあう地域づくり」については、長期にわたるテーマなので、第1期で完結するものではない。また、抽象的なテーマであるがゆえに、反面、さまざまな課題に取り組むことができるテーマとも言えるというお意見がありました。

以上のようにさまざまな意見がございましたが、さまざまな課題を包括し、かつ言葉が簡明である、「心が響きあう地域づくり」を第1期に引き続き第2期の全体テーマとすることを企画部会から提案したいと思います。委員の皆様によりよい審議をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

西谷委員長 ありがとうございます。ただいま神本部長から第2期の全体テーマにつきまして説明、ご提案をいただきました。第1期と同じように「心が響きあう地域づくり」としてはどうかということでご提案させていただきますが、よろしくお願いいたします。ご意見、どうぞ。

テーマについて、幾つかのご提案があったのを、企画部会で検討した結果、第1期のテーマを引継ぐということに結果的になりました。それについて皆様のご意見がございましたらお願いしたいと思います。よろしいですか。

では、第1期の全体テーマが「心が響きあう地域づくり」ということですが、これ

は今神本委員からもお話しいただいたように、2年間で完結するようなテーマではなく、非常に幅の広い継続性のあるテーマということです。さまざまな課題に取り組むこともできますし、結果的には「心が響きあう地域づくり」が形成されていくものと考えられるテーマということで、継続したテーマとしてやっていきたいという提案ですが、ご異論がないようでしたら、これで決定させていただきたいと思いますが、いかがなものでしょうか。よろしいですか。

それでは、全体テーマとして「心が響きあう地域づくり」ということで行きたいと思いますが、ご賛同が得られましたら拍手をお願いします。

〔 拍手 〕

西谷委員長 ありがとうございます。それでは、第2期の全体テーマを「心が響きあう地域づくり」とします。

イ 課題の選定について

西谷委員長 それでは、引き続きまして、議事の(2)第2期の調査審議課題についてのイ 課題の選定に入りたいと思います。

第2期の課題選定につきましては、全体テーマと同様、第1回企画部会にて課題の検討整理をさせていただいております。

企画部会から説明、ご提案をお願いしたいと思います。

それでは、神本部会長、よろしくお願いいたします。

神本副委員長 それでは、議事(2)第2期の調査審議課題についてのイ 課題の選定について説明、提案をさせていただきます。

資料3による説明でございます。資料3、提案課題整理表による説明。資料3をごらんいただきたいと思います。区民会議の運営要領では、企画部会の役割として、課題の整理及び調整をすることになっております。9月3日に開催した企画部会において、第2期の区民会議の課題について整理をさせていただきました。

区民会議の課題の設定につきましては、前回の区民会議におきまして、1、緊急性、2、必要性、3、公平性、4、実現性、5、協働による取組の可能性、6、区民の主体性、または梶委員から継続性との指摘もあり、それらを基準に整理することになりました。

提案課題整理表をごらんください。第1期の取り組み課題、それから、前回の区民会議で提案のあった第2期の新たな課題について一覧にまとめたものです。企画部会の提案をさせていただきます。

まず、第1期の取り組み課題ですが、「こどもの見守り」と「高齢者が輝く地域づくり」については、現在、区のほうで協働推進事業として、あいさつが交わり合える地域づくり事業、小地域のつながりネット支援事業として動き出しましたので、企画部

会の中でその動きを見ていこうと考えております。また、地球温暖化を含めた自然環境にかかわる課題を掲げた委員が4名おり、また、緑の保全を掲げた委員が1名おり、第1期の取り組み課題である農を含めて、環境部会を設置したらどうか、部会の中で個別具体的な取り組みの課題を絞り込んでどうかというふうに考えております。また、もう1つは、文化芸術を挙げた委員が2人おりました。さらにチョイボラといった市民活動の推進、コミュニティづくり、異世代間の交流、子育てといった課題を掲げた方が各1名ずつおりましたので、それらを1つにまとめて地域交流部会を設置したらどうか、部会の中で個別具体的な課題を絞り込んでどうかと考えております。また、第2期の課題として挙げた「弱者（高齢者、障害者等）に優しい地域づくり」については、第1期の「高齢者が輝く地域づくり」と近いテーマですので、企画部会の中で全体の動きを見ていければいいと考えております。

なお、企画部会として、課題を整理する中で、専門部会の設置について提案させていただきましたが、委員全員の方がいずれかの部会に所属していただければと考えております。

以上、企画部会から提案いたします。委員の皆様、審議、検討をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

西谷委員長 ありがとうございます。ただいま神本部長から、第2期の課題選定と、それにかかわる専門部会の設置について説明、ご提案をいただきました。環境部会、地域交流部会という2つの部会を立ち上げるということで、その中に皆様方からお寄せいただいたそれぞれの課題について入れ込んでいくことにします。その環境部会の中でもう1回これを審議していただいて、どのような取り組みにするかということを考えていただきます。地域交流部会の中でもいろいろな形がありますので、この中で今年度は何を中心にやっていくかを考えていきたいと思っております。この設置の方法について企画部会ではこのように2つにまとめたのですが、そうではなくて、3つにしたほうがいいのではないかとか、もう少しこういう課題についても中に入れてほしいということなどなど、いろいろなご意見があると思っておりますので、ぜひご意見をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

山崎委員 お聞きしたいのですが、環境部会の緑の保全の中の子育て、地域交流部会の中にも子育て、それから、企画部会として弱者の問題、これがそれぞれ別々に考えられるのではなくて、もう少しまとめて考えられないかと思うのです。こちらで取り上げて、社協でも取り上げて、区役所の中で子どもネットワークもできたし、そういう中でやっていかなければいけないだろうと思うのですが、これがあちこち散らばっていくと、本当にそれでいいのかと。何かまとまっていかないような気がするのですね。やはりその辺が僕はちょっと危惧するのですよ。

というのは、この間言ったのですが、今、老人いこいの家が6つか7つあるわけで

すね。この間、社協の中で言ったのですが、子どもと老人が一緒になって遊ぶ場所がない。これは老人いこいの家が別々に分かれているというところに問題がある。1つは、今で言うと健康福祉局になるのか、片方は市民・こども局、そういうことで、縦割の中でものが進んでいるので、そういう中で1つ違うと思うのですね。やっぱり小さい子をおじいちゃんおばあちゃんが見るということになると、今の核家族がもっと広がる、そういう意味で、子育ても違ってくるだろう。そういうことがここで論議できるので。緑の中というのは、何を意味しているのか。緑の保全の子育てというと、公園の遊びの中だと思うのですね。そういうことで考えているのだろうと思いますので、何かちょっとまとめたほうがいいような気がいたします。よろしく願います。

西谷委員長 ありがとうございます。今、子育ての問題があちらこちらと散らばっているということなのですが、これは一応皆様が出してくださった課題について張りつけていただけです。麻生里地・里山保全推進事業、麻生プレイパークを創る会、自然の遊び場実験とか、こういう遊び場の問題から子育てを考えているようなので、緑の保全というところの中に入っているのだと思います。これは切り口としてそのようなことを意味していると思います。今、山崎委員がおっしゃったようなのは、多分11のところに、地域交流部会の一番最後のところに書かれています異世代間の交流というところで考えられるといいのかと思います。確かに行政の縦割というのは、大分改善はされたようなものの、まだまだ縦割行政があって、うまく連動していかないところがあります。何か区民会議がやれることがあるのかどうかということも検討いただいてもとは思いますが。この中で、今おっしゃったようなこともできるのではないかと思いますので、ぜひ部会の中でご発言いただければと思っております。

あといかがでしょうか。事務局のほうで何かご意見はありますか。

区長 行政の縦割という話がありましたけれども、縦なのか横なのか別にして、福祉だとか、環境だとか、文化だとか、要するに国を含めて、それを縦だとすれば、今、区の中でもこども支援室なんかできたというのは、特に子どもに着目して、子どもをどうしていこうという、これは世代別だとか、また性別だとかという見方も必要だということで、そういうものができてきたということですね。少子化だとか、そういう話もあってなのでしょうけれども。ですから、両方はクロスしていくわけなのですが、かつては分野別になっていたのを世代別にも必要だろうというので、そういう横軸が入ってきた。実は文化なんかもそのうちの1個なのですが、斜めなのか横なのか知らないのですが、そういうのがあるということですね。

この部会をつくるというのは、区民会議の中で専門的にそれを検討していただいて、テーマを出していこう、それでもって取り組み課題なんかも出してもらおう、専門的にやってもらおうということですから、それはそれでやっていただいて別に私は

いいのかなと思うのです。この区民会議の本会議のほうはそれをまた調整しなければいけないわけですから、この部会の中で子どもに関するこういう課題が出ているので、他の部会、例えば子どもの話が地域交流部会のほうでこういう話題が出たということについては、環境部会のほうにこういう話題が出たよというのは、この会議であったり、あるいは企画部会からその会議のほうに伝えていただければいいのかなと。そういうことによって深まるのかなというふうに思っています。

西谷委員長 ありがとうございます。部会の中でどういうふうな課題を選定していくかということは、今後の課題になってくると思いますので、ぜひその中で活発なご議論をしていただければと思っております。

あと、いかがですか。

先ほど神本部会長のほうからちょっとご提案があったのですが、皆様、聞き逃されたかもしれません。今回はできれば委員皆さんにどちらかの部会に所属していただくといいかなと思っています。強制ではございませんけれども、何らかの形でやはり区民会議の中で、全体会だけでなく、個別のところでも推進力になっていただきたいと思っていますので、それも頭に置きながらこの部会についてご意見をいただければと思っています。こんなのでは全然自分は議論する分野はないとおっしゃる方がいらっしゃったら、どういう分野を区民会議で取り上げていきたいのかということも含めてお願いしたいと思っています。

第1期でやりました農産物と地域交流の問題は環境部会の中に吸収させるということと、それから、「高齢者の問題」と「こどもの見守り」については企画部会が引き続いて考えていきます。それと、新しく弱者という問題が出てきましたが、これについてはもう少しこちらのほうで検討させていただきたいと思っています。それ以外のことで何かありましたら。またはこの中でご質問があれば、環境部会と言っているけれども、これはどういうことを指しているのだろうかとか、何かありましたらぜひお願いしたいのですが。

それでは、皆さんからご意見がございませんようですので、企画部会からの提案についてご承認いただけるでしょうか。

〔 拍手 〕

西谷委員長 ありがとうございます。それでは、第1期の2つの課題は企画部会ということになりましたが、新たに課題を調査、審議する場所として、農を含めた環境部会、それから、地域交流部会の2つの部会を設置することにします。

また、皆様にはいずれかの専門部会に所属していただきたいと思っておりますが、よろしくお願ひできますでしょうか。ちょっと時間を置いてご希望を伺いたいと思いますので、保留の方は保留、後ほど事務局へという方はそのようにお願いします。強制はいたしません、できればどちらかの部会に入っただけでもいいかと思っ

います。順番に伺いますので、2つとも部会に入りたいという方は2つとも部会に入りたいのも結構でございます。ただ、忙しくなるので、その点をご承知おきください。

前にいただいたあいうえお順の区民会議の名簿がありますので、これに沿って伺っていきますので、環境にするか、地域交流にするか、どちらかをおっしゃっていただけるといいと思います。保留の方は保留ということで結構です。

それでは、天野委員。

天野委員 環境のほうをお願いします。

西谷委員長 飯塚委員。

飯塚委員 保留。

西谷委員長 それでは、市川委員。

市川委員 私は結論として環境部会を希望しますが、理由と言うとおかしいのですが、最初に皆さんとここでお会いしたときに自己紹介がございましたね。あのときに私は団体推薦で、防犯協会という、そっちのほうからでしたのですが、それはそれで活動しているのですが、実は個人的な職業等をあのときは全然発言していなかったのですが、実は私は黒川に住んでおりまして、生まれながらの農家なんです。それで、いまだに、今少なくなった野菜専業農家を営んでおります。若いときですから、約60年ずっと農業を今現役でバリバリやっております。そんな関係で、農の関係が1期のところにあつたのを環境のほうに入れるというお話がありましたので、そういった関係が特段深いかなという感じがします。能書きが長くなりましたけれども、こちらを選びます。

西谷委員長 市川委員は環境のほうで。

では、伊藤委員。

伊藤委員 私はこの環境部会を希望したいと思います。というのは、環境部会の課題の「地球温暖化対策を含めた持続可能な社会をめざす『エコのまち麻生』のまちづくり」ということで、この課題を提起したということもありますし、そういう意味で、何とか方向で地域社会をつくりたいなと思っていますので、環境部会をお願いしたいと思います。

その前に、申しおくれましたけれども、企画部会でただいま神本部長という紹介がありました。私が副部長になりましたので、よろしくお願ひしたいということです。

西谷委員長 よろしくお願ひいたします。

碓井委員。

碓井委員 私は麻生環境会という会に入っているんですよ。ですから、環境部会で。

西谷委員長 鴨志田委員。

鴨志田委員 私は商店会のほうから来ておりますので、やはり地域交流部会のほうを希望させていただきます。よろしくお願いいたします。

西谷委員長 小坊委員。

小坊委員 保留でお願いします。

西谷委員長 下八川委員。

下八川委員 私は昭和音楽大学から来ておりますので、この内容を拝見しますと、地域交流部会でやらせていただければと思います。

西谷委員長 菅原委員。

菅原委員 文化協会から来ております。私も地域交流部会のところで、6のところでも提案させていただいておりますので、その実現をさせたいというふうに思います。地域交流部会に入ります。

西谷委員長 谷川委員。

谷川委員 11番の異世代間の交流というのを提案させていただいておりますので、地域交流部会のほうに入らせていただきたいと思います。

西谷委員長 寺川委員。

寺川委員 地域交流部会にお願いいたします。

西谷委員長 根占委員。

根占委員 私はちょっと迷っているのですが、環境部会にしても、私は公園愛護会の一員として、毎週土曜日、汗を流しているのです、ここに入りたい。また、地域交流部会については、交流館やまゆりの関係もありますので。それから、企画部会の障害者、私は重度障害児を抱えているので、ここにも関心があるということですが、やはり交流館やまゆりから選ばれておりますので、地域交流部会ということをお願いしたいと思います。

西谷委員長 守田委員。

守田委員 私も同じく地域交流部会にお願いいたします。

西谷委員長 山崎委員。

山崎委員 こちらから両方入れと言われていますが、体は1つしかありませんので、両方は入れそうもないのですが、正直言って地域にも確かに関係するかどうかと思うのですが、緑の保全ということが1つ大きなテーマ、これの中に農も含めて考えなければいけないと思うのですね。ですから、一応環境部会にして、後ほどまた一緒にやらせていただきます。よろしくお願いいたします。

西谷委員長 渡邊委員。

渡邊副委員長 私はここにそもそも入ったのが、美化活動実施麻生支部長の関係で名前を連ねているものですから。それから、私、今現に町会長もやっているのですけれども、環境部会のほうでいきたいと思います。よろしくお願いいたします。

西谷委員長 神本委員。

神本副委員長 私も1期のときに農のほうの専門部会に入っておりましたものですから、その引き続きとして環境部会のほうにお願いしたいと思います。

西谷委員長 副委員長が2人とも環境なので、私はそれでは地域交流にすることにします。できるだけ両方に顔を出していく予定ではありますが、籍を地域交流にしておくということで。保留の方もいらっしゃいます。それから、欠席がきょう3人いらっしゃいますので、今のところ決定している方を申し上げます。環境部会は、天野委員、市川委員、伊藤委員、碓井委員、神本委員、山崎委員、渡邊委員ですね。それから、地域交流は、鴨志田委員、下八川委員、菅原委員、谷川委員、寺川委員、根占委員、守田委員と私ということです。きょうは梶委員、尾中委員、矢野委員がご欠席ですので、その3人の方は事務局から後ほど伺っていただくということで、あと保留の方は決まり次第おっしゃっていただければと思っております。

ということで、皆様方にそれぞれの専門部会に所属していただきましたので、また後ほど日程調整等を終了後にさせていただきたいと思っております。

飯塚委員 いろいろ用事があって、欠席が多いんですね。今、区長さんが、保留が1人ではみっともないからということで、何かやりなさいと。名前だけになるかと思えます。地域交流で、ひとつそういうことでよろしくどうぞ。

西谷委員長 飯塚委員は非常にご多忙でいらっしゃるの、できるだけ結構でございますし、また、町会関係はほかでもご協力いただくことがたくさんありますので、出席するばかりでなくて、いろいろとお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

ということで、地域交流が1人ふえました。そうしますと、今のところ地域交流が9人、環境が7人ということで、未定が4人ということです。ということで、発足したいと思っております。第1回の専門部会の日程調整はこの終了後させていただきたいと思っております。

それでは、何かこれまでのところでご意見ございますでしょうか。

3 その他

川崎市の地球温暖化に向けた取組について

～川崎市環境局地球環境推進室から説明～

西谷委員長 それでは、3のその他に移りたいと思えます。

麻生区民会議において環境分野の課題が多く提案されていますので、きょうは環境局から地球温暖化防止対策について説明したい旨のお申し出がありましたので、区民会議の皆様は環境問題について学んでいただく機会ととらえまして、きょう、本会議に関係課にお越しいただいております。

それでは、ご紹介いたします。川崎市環境局地球環境推進室の廣瀬課長補佐です。

よろしく願いいたします。

(環境局から説明)

西谷委員長 ありがとうございます。せっかくの機会でございますので、皆様からご質問とかご意見などのご発言をいただきたいのですが、今のことに関連してもいいですし、それから、何かぜひこの際伺いたいと思うことがありましたら。

山崎委員 今の説明の中で1つ疑問に思うのは、農業で一番問題なのは、どうしてもハウスをつくりますね。そのためには、やっぱり皆さんが食べ物を、仮に先ほど出たキュウリにしても、1年じゅう欲しいわけですね。こういうことになれば、ハウスでつくらなきゃできないわけです。その辺がもう1つ、太陽光でやればといった、それまでやるとなると、相当の金額がかかるわけですよ。そういうものと、考えたときに、どう取り組むかという。1つは、皆さんが食べ物を少し考えればいいのだろうと思うのです。こういう問題は大きな問題だと思うのです。じゃないと、ハウスは絶対的になくなるし、温暖化はふえるということになっていくのではないかと思います。

それから、もう1つ、家庭の電力消費が、エアコンと照明で約50%ですよ。ということは、エアコンをいかに無駄に使っているかということが先ほどよくわかったのですが、私はエアコンが嫌いだからいいのですけれども、好きな人はいっぱいいると思うのです。やっぱり自然の風を利用しなければいけないと思うのですね。この辺が大きなあれじゃないですかね。だから、川崎市も、ここも今、大分冷房が入っていると思います。私はちょっと寒いなと思っているくらいなんです。だから、冷房が本当に必要な時期というのと、昔は、どこのビルでも、正直言いまして、窓をあけて扇風機が回っていたわけですよ。今は窓があかないわけですよ。そういうつくりの中でやるからこういう逆な発想になってくるのだろうと。昔に返れば簡単なのですよ。そういうことも少し考えていかなければいけないだろうと私は思います。

環境局 今の話は私がコメントする話ではないかと思いますが、多分、食の話でいくと、別に温暖化ではなくて、旬の食べ物はおいしいわけですから、やっぱり皆さんが再認識して、旬の野菜を食べましょうということになれば、必然的に温暖化対策になるということで、ぜひおいしい野菜をいっぱいつくっていただいて、それをみんなで食べましょうという話にすればいいのかなと思います。

それから、エアコンとか照明、特にエアコンの話が出ましたけれども、私なんかもそうですが、やはり技術が発達して、扇風機からエアコンという形で、エアコンの前に行くのととりあえず涼しいということがありますが、一時期、冷やし過ぎて冷房病とか、そういうマイナスの効果もありましたし、実はエアコンの空気というか、エアコンの効いているところが一番快適かということ、快適なのと温度が低いというのは多

分違うのですね。自然の風が吹いて適度に低いというものが一番快適なのですね。そこが私たちは今まで、とりあえずエアコンができたのだから、エアコンがないと貧乏くさいという感じもなくはないということも含めて、そこら辺を見直していくというのが必要なのかなというふうに思います。

菅原委員 今、エアコンのことが出たのですけれども、今、各学校の全部の教室にエアコンを入れるということで、夏休み中、突貫工事でやっております、これはエアコンが全部の教室に入ると一体どのぐらいのエネルギーをどう使うのかという計算をされた上でそういう政策が出てきたのでしょうか。学校がもともと3学期制だったらそんなことは要らなかったんですよ。それが2学期制になったために、ぎりぎりまで、8月暑いときも授業をしなければいけないし、8月も早いときに学校が始まってしまふ。日本の気候でいったら、3学期制にしていたら、とても快適な授業ができていたと思うのですが、そのエネルギーのところはどのぐらい計算されたのか、学校全体のエアコンをつけた場合、影響は、川崎市が払っていくわけですよ。そのエネルギーの代償はどういうことになっているのか、お聞きしておきたいので、お願いします。

環境局 具体的にその数字は私どもはわからないのですけれども、少なくとも学校を冷房化するということは市の方針として決めたわけです。やはり6月、7月に非常に暑い日がある。9月、ことしは暑い日はそんなになかったですが、9月もあるということで、相当に児童の皆さんに負荷がかかっているというのも事実だと思います。ただ、冷房を入れれば当然おっしゃるとおり、エネルギーをいっぱい使うことにもなりかねないということで、そこは我々としては、今教育委員会もそうだと思いますが、冷房を入れたから必ず冷房の装置を使うということではなくて、ことしから緑のカーテンも学校でやっているところも大分ふえております。ですから、自然の力でできるときは冷房をつけない。ただし、どうしても暑い時期なり何なりがあると思いますので、そういうときにはつけるという形で、メリハリのあることを教育委員会も今やろうとしていますので、数字は私は今わからないので、そういう姿勢で今教育委員会が取り組んでいるということをご報告させていただきたいと思います。

根占委員 1つご質問します。

先日、テレビを見ていましたら、ヒートアイランドの緩和の一環として、アスファルトの道路とか何かに太陽熱の反射溶剤というのがあって、かなり蓄熱が削減できるという報道があったのですが、例えば川崎市としては、アスファルト舗装の道路なんかにそういったものを吹きつけるとか何かということで、ヒートアイランド現象を解消するというのも多少はお考えでしょうか。

環境局 蓄熱をどうやって減らすかという方法では、光反射、赤外線を特に反射する塗料が今開発されております。それから、保水性舗装ということで、水をいっぱい保水して、それで熱くなったらその水の蒸散によって、普通だったら70度、80度になるよう

な路面を普通の土みたいな形で冷やしておくという技術も開発されています。そういう保水性なり、反射塗料なんかも含めて開発されておりまして、今そういうことを研究している最中で、今後それがきちっと効果があるということになれば、順次取り組んでいくということになります。ただ、保水性舗装については、今、等々力のほうで実験を繰り返しております。

神本副委員長 質問を1つします。

ペットボトルのキャップを集めているところがあるのですが、鶴川の駅で集めているのです。これを麻生でも集めたらどうかと思っております。何か集めることに対してアドバイスがありましたらお願いしたいと思います。

環境局 私は温暖化をやっていますけれども、環境局には廃棄物のところがあって、廃棄物でいくと産廃というカテゴリーがあって、そういうものを集めて運ぶというのが、産廃のところに結構ひっかかるので、うまく産業廃棄物にならないようにちゃんと集めて、やはり我々が一番懸念しているのは、集めたものがきちっと最終のところに行って原料になればいいのですけれども、ならないということもあり得るので、ぜひそういう信頼のおける業者の皆さんにお願いして、きちっとやっていただければ、環境対策の一環になると思います。

渡邊副委員長 実はこの話は、全町連のこの間の研修で、中原区の町会さんがそれをしていて、それを集めるとワクチンがどこかへ寄附できるという形で、それですごく動いているところがあるのです。ですから、私もそのとき何分間か話を聞いてきたのですけれども、細かく町会名とか記憶にないのですが、そういうことで、資源として集める。どなたかご存じの方、いませんか。そういうことができるのだというような話がありましたよ。

区長 地域交流部会で検討していただいて。そちらのほうで。資料は事務局で整えますから。私どもも知っていますよ。中原です。ですから、調べて、どちらの部会にしたらいいものか、よくわかりませんが、地域交流部会にも環境部会にも資料を届けます。

西谷委員長 それでは、今のキャップの話は部会のほうで取り上げることにしまして、今の環境問題についてのエコ関係のことで何かご質問等ございませんでしょうか。地球温暖化というのが非常に大きな話題を今提示されていて、昨日のテレビで、アラスカとか北極をフライトしている機長さんが写真を撮った比較というのをやっていたね。そうしましたら、氷河がなくなってくる、それから、氷が解けてしまうというような状況、それから、北のほうでは見られないような雲が見られるとかという、非常に地球規模でいろいろな問題が出ています。私たちもそれに少しずつ加担しているのだということを実感します。今、いろいろな技術も開発されて、例えばアスファルトも熱を出さないようなアスファルトが今開発されつつあるし、それから、川崎でも

屋上緑化等をやっているようですし、できるだけヒートアイランドにならないような形のものを考える必要があります。麻生区は比較的緑の多いところなので、そういう問題と何となく疎い気がしますけれども、何かできる対策がないかということも、また部会のほうでも検討していくことをお願いします。そのためのいい資料とさせていただきたいと思っています。きょうは川崎のいろいろなことを勉強させてもらいました。本当にありがとうございました。

環境局 先ほどのグリーン電力証書の話ですが、実はここにはがき10枚ありまして、人数分ないので配らなかったのですけれども、1枚あると10キロワット分の太陽光発電を使ったという証明になりまして、10キロワットという、皆さんの各ご家庭で1日分なのです。このはがきを持っていると、その日1日グリーンな電気で過ごせるというはがきが、ちょうど10枚ほどありますので、欲しい方がいらっしゃったら声をかけてください。

天野委員 お幾らなのですか。

環境局 これは試供品というか、ただです。

天野委員 市がお金を出しているわけではないんですか。

環境局 これはそういうものを普及させたいというところが試供品で10枚市のほうにくれたので、これはただです。ただ、実際問題、買おうとすると、1キロワット10円とか、太陽光とか風力とかバイオマス、値段がちよっと違うんですけれども、大体10円ぐらいで取引されております。

西谷委員長 グリーンエネルギーの開発を促進させようという1つの運動の一環としてはがきを皆さんにPRとしてお出しするということだと思えます。また後ほどご希望の方はぜひ環境問題のことをやろうとおっしゃる方は参考までに言っていたきたいと思えます。

それでは、ほかにございませんでしょうか。

3 その他

西谷委員長 それでは、その他に移らせていただきますが、その他何かございましたら。

天野委員 区民会議の事前説明会の折、配付した資料を再度配付しないでいただけたら、少し紙の節約とか、いろいろなエコの活動につながるのではないかとということで、再配付はしないでくださいとお願いしまして、皆さんも了承して下さったと思います。そして、きょうも、企画部会で先に配られたこのような資料は、私たち企画部会の人間はいただいております。その部分はうれしく感じております、あと、大きな封筒も、事前説明会のときに配られたと思いますが、1回目の区民会議で区役所の方がこのエコバッグを配って下さいましたので、封筒のかわりにこれを使ってくださいということで、配付していただきました。うれしく思っております。区民会議から

そういうことを発信していただけたらと思っております、先日の企画部会でもう1つ提案させていただいたのは、報酬をいただく封筒なのですが、名前を書いてもらって、印鑑を押して、これについては、その場でお返しすれば、会を通して1枚で済むのに、毎回いただくと、企画部会も考えると、トータルで何枚にもなりますので、もしきょうご賛同いただけましたら、資源の有効活用ということで、これも1人1枚その場で返すという形に提案させていただきたいのですが、いかがでしょうか。

西谷委員長 ありがとうございます。ただいまのご提案につきましてご意見をいただきたいのですが、いかがでしょうか。

では、ご意見、ありがとうございました。それでは、皆様からご意見もございませんようなので、1度配付した資料は再配付しない。それから、資料を入れます封筒は配付したエコバッグを利用するということと、それから、きょう新たに提案されました報酬用の封筒は事務局に返却するというので、きょうからそこにかごが置いてありますので、お帰りの際にその中に封筒を入れてお帰りいただければと思います。すぐにこの場所で抜くのも何かと思いますので。必要な方はお持ちくださっても結構ですが、ご協力いただければと思っています。

それでは、一応これで議事関係は終わらせていただきます。

では、最後に、参与の方にご助言をいただきたいのですが、参与の方々には、議会の開会中で、本当にお忙しいところ区民会議にお越しいただきまして、ありがとうございました。

それでは、伊藤参与のほうから、ご意見、ご助言をいただきたいのですが、よろしくをお願いします。

伊藤参与 皆さん、どうもお疲れさまです。今、委員長のほうからありましたけれども、開会中でございまして、きのう、決算審査特別委員会が立ち上がりまして、来週の木曜から審議が始まるということで、いろいろと行政との答弁調整ですとか、そういったものできょう私もおくれてしまいました。どうもすみませんでした。

おくれてきたということで、来たら既に大体テーマは決まっています、部会の振り分けというようなところだったのですけれども、確か前回の1期のときにも、最後の取りまとめのときに、わりかし時間があるようで意外となくて、やり残したことがあったということがあったと思うのですけれども、部会が環境と地域交流と分かれたわけですが、2期目の終わりのときには、いい結果が出せるような、効率いい部会運営をしていただければなと思います。

西谷委員長 尾作参与、お願いします。

尾作参与 伊藤さん以上におくれてきまして、きょうは何しに来たのかなというふうに思っているのですが、結局、地球温暖化に向けての説明を聞きに来たのかなというふうに思っているのですが。きょうあたりも台風の影響で結構雨が降ったりということ

で、九州ですとか、水の被害が出ておりまして、8月からずっと日本全国あちこちで水の被害が出て、ゲリラ豪雨という話があちこちで飛び交っているのですが、この辺でも先日の大雨のときに、私も鶴見川の調整地から、下の下麻生、早野界限を、雨が上がった直後に見に行ったのですが、本当に橋の欄干のすぐ下まで増水してしまっていて、いつあふれてもおかしくないのかなというふうに思っていました、これも地球温暖化が1つの理由であるならば、それこそ本当にカーボン・チャレンジ、川崎だけではなくて、市民も総出で積極的に取り上げていかなければいけないのかなということを感じながら、きょうは説明を聞かせていただきました。ですので、これからも区民会議の結論に期待をしておりますので、ぜひ実りあるこれからの1年間の活動をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

西谷委員長 勝又参与、お願いします。

勝又参与 ご苦労さまです。私は2つちょっと気になったことがあって。今ちょうど説明していただいていたもので、5ページのところにある、川崎市の太陽光発電設備設置の推移のところ、ちょうど2005年のところで、ぐんと太陽光発電が設置数が減っているのは、国の補助がなくなったからだということで、2006年にまた135件というふうに上がったときに、市の補助がここで入ったからだというふうに聞きました。せっかく補助が入って、そのときは1キロワット5万円ということになっていたのですが、申し込みが多くて、市の予算の1800万円を超えてしまったので、翌年は1キロワット3万円に減らしたというふうに聞いて、それで申し込みが112に減ったということで、これは逆じゃないかなと、せっかくそういうふう補助してふえたのであったら、予算のほうをもっとふやすということをするべきだったのにということを、実はきょうはここへ来る前に廣瀬課長補佐と話をしてきたところだったものですから、すごく気になっているところです。

それとあと、4ページのところで、川崎市のCO₂排出構造の変化と上の段の左にあるのですけれども、これで先ほどお話ししていただいた主な発生源のところ、家庭と自家用車がふえているということで、ここを何とかということできょうのお話の全体もこれにひっかかってくるのかなとは思いますが、実はふえているパーセントよりも少ない数字ではあるのですが、産業部門がけた違いに出している量が多いわけですね。ここがほんの1%でも減らすことができれば、かなりの量の排出量削減になるのではないかと思うので、ここを見過ごしたままではいけないなということは、ちょっとこの2つをきょう感じました。これからもよろしくお願いたします。

西谷委員長 山崎参与、お願いします。

山崎参与 皆さん、お疲れさまでした。今の太陽光発電についてなのですから、やはり市の補助もさることながら、何かというと今まで日本が太陽光発電についてはトッ

ブを切っていたのですが、ドイツに抜かれてしまったという現状があるのですが、それはやっぱりできた電気を買ってくれるというシステムをドイツがちゃんとやっているというところで、やはりそこが一番問題で、幾ら補助をたくさんやったとしても、つけれる家、つけれない家、いろいろさまざまある中で、そこまでも踏み込んでやっていくのがこれから必要かなと思っております。

もう1つなのですが、旬の野菜を食べるということについてですけれども、うちでもなるべく旬の野菜を食べるように、旬のものは本当においしいですね。家庭で食事をしているときに、例えば、お魚を食べて、あっ、この魚、おいしいねと言ったときに、これはサワラよ、魚へんに春と書いて、今、一番旬だからおいしいのねというような会話ができるような食事ですね、そういうような家庭のあり方とか、給食のあり方とか、そういうこともこれから考えていきたいなと思います。皆さんまたよろしくお願ひいたします。

西谷委員長 きょうはお忙しいところ駆けつけていただきまして、本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたしたいと思います。

それでは、最後に、事務局から何か事務連絡がございますでしょうか。

(事務局から事務連絡)

西谷委員長 ありがとうございます。

ただいま事務局から第3回の区民会議の日程の変更についてご連絡がありました。

12月19日(金曜日)午後3時ということに変更になりますので、よろしく皆さんのほうご訂正のほどお願ひいたしたいと思います。

伊藤委員 今それで気がついたのですが、企画部会、この第3回が終わってからになるのでしょうか。その前に企画部会の日程というのはどういうふうか。

西谷委員長 企画部会は必ず本会議の前に準備がございますので、開かせていただきます。その日程の調整につきましてはまたご相談させていただきます。

伊藤委員 専門部会は。

西谷委員長 専門部会のほうですが、専門部会はこれが終了しましたらば、それぞれの部会に分かれまして、日程の調整をさせていただきたいと思っています。こちらの予定としては10月には1回は開催したいと思っておりますので、また、そこでご相談いただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

それから、あともう1点ですが、12月の第3回の区民会議なのですが、もう12月なので、できましたらば、会議の終了後、また委員同士の交流会を開催したいと思ひますけれども、いかがでしょうか。よろしいですか。

皆さんからご賛同いただきましてありがとうございます。それでは、ぜひ多くの

方のご参加をいただきたいと思いますので、12月19日、終了後、予定をとっておいて
いただきたいと思います。ありがとうございます。

4 閉 会

西谷委員長 それでは、長時間にわたるご審議、ありがとうございました。また、議事の
進行のご協力、ありがとうございました。

これで第2回麻生区区民会議を閉会させていただきます。

午後4時58分閉会